社会福祉法人　日本視覚障害者団体連合

第69回

全国視覚障害青年研修大会

（札幌大会）

大 会 資 料

会　期　令和5年9月17日（日）～18日（月・祝）

会　場　TKP札幌ビジネスセンター赤レンガ前

　　　　　札幌ガーデンパレス

主　催　社会福祉法人　日本視覚障害者団体連合　青年協議会

　　　　　公益社団法人　札幌市視覚障害者福祉協会　青年部

大会スローガン

見いだそう！視覚障害者の新たな可能性

目指そう！誰もが活躍できる障壁のない社会

繋げよう！共感し合える仲間の輪

踏み出そう！北の大地から未来への一歩

**社会福祉法人日本視覚障害者団体連合 青年協議会**

**令和４年度　事業報告**

**（令和４年４月１日～令和５年３月３１日）**

【活動方針】

（１）移動、ＩＴ、就労等について、青年層の抱える問題を集約し、日視連本部との連携のもと、社会に対する啓発を行う。

（２）全青大会、各ブロックでの活動、メーリングリスト、SNS等を活用した交流を通じて、各個人・各団体の経験や知恵を共有し、各地域の青年部の組織強化に繋がる活動の推進を図る。

（３）規定の改定及び全青大会のもち方等の見直しを行い、地域団体の次世代を担うリーダーの育成を進め、青年部員が地域の団体活動に参画しやすい環境の推進を図る。

【主な活動】

・日視連団体長会議、評議員会への参加

・第７５回全国視覚障害者福祉大会 名古屋市大会への

参加

・第６８回全国視覚障害青年研修大会福岡県大会の実施

・各団体青年部担当者設置の推進

（担当者設置団体：42団体）

・全国委員と連携した各ブロックの組織強化を実施

・関係団体との連携（JRPS、弱視者ネット青年部と研修会の共同開催）

・日視連会長との意見交換会（年１回）

・社会対策研修会（就労）の開催　（年２回）

・提出議題検討会（２月）

・団体青年部活動助成事業

（仲間づくり・交流・研修会等）：８団体

（１）福島県：ブラインドメイク体験会

（２）千葉県：タンデム自転車体験会

（３）東京都：ブラインドダンス体験会

（４）静岡県：ミカン狩り、久能山東照宮参拝

（５）近畿ブロック：近畿ブロック青年部交流会

（６）大阪府：軽スポーツ

（７）大阪市：カラオケ交流会

（８）堺市：黒枝豆狩り

（９）島根県：点字用紙を使ったカゴ作り体験

・青年協議会メーリングリストの管理

・青年協議会ホームページ、SNSの管理・運用

・青年協議会役員名簿の作成と管理

・点字・墨字・メールによる各種文書送付

・各種調査・アンケートへの協力

・機関紙いぶき発行

（MLやLineのオープンチャット・SNSにて）年3回

【主な日程】

４月１７日（日）　青年協　第１回常任委員会

青年協　会計監査（オンライン）

４月１７日（日）　青年協　第1回全国委員会

（オンライン）

４月　　　　　　　日視連　提出議題分科会

（オンライン）

５月８日（日）　青年協　第２回常任委員会

（オンライン）

５月３１日（火）～６月１日（水）

第７５回全国視覚障害者福祉大会（名古屋市）

・日視連団体長会議参加、女性協と青年協でシンポジウムに登壇

６月９日（木）　　日視連　会計監査（オンライン）

６月２６日（日）神奈川県福祉大会弱視分科会への参加

６月２９日（水）　日視連　第１回評議員会　委任

６月　　　各省庁への陳情（コロナ禍のため実施なし）

７月１０日（日）　青年協　第１回社会対策研修会

（オンライン）

　　　　　　　　　青年協　第３回常任委員会

（オンライン）

７月１２日（火）　青年協　第２回全国委員会

（オンライン）

７月２４日（日）　東海ブロック青年部研修会

（オンライン）

９月１１日（日）　日視連　竹下会長との懇談会

（オンライン）

９月１８日（日）～１９日（月・祝）

第６８回全国視覚障害青年研修大会福岡県大会

（ハイブリッド）

（ホテルニュープラザ久留米）

９月１８日（日）　青年協　第４回常任委員会

（オンライン）

青年協　第１回代表者会議（オンライン）

９月２７日（火）　青年協　第５回常任委員会

１０月７日（金）　日視連　第２回団体長会議

（オンライン）

１１月４日（金）　日視連組織部との打ち合わせ

（オンライン）

１１月２３日（水・祝）青年協　第２回社会対策研修会（オンライン）

１月８日（日）　　神奈川県視覚障害者協会主催成人式（オンライン）

１月１５日（日）　青年協　第３回全国委員会

（オンライン）

２月１１日（土）　東京都盲人福祉協会青年部研修会

２月１５日（水）　日視連　第３回団体長会議

（オンライン）

２月１９日（日）　青年協　提出議題検討会

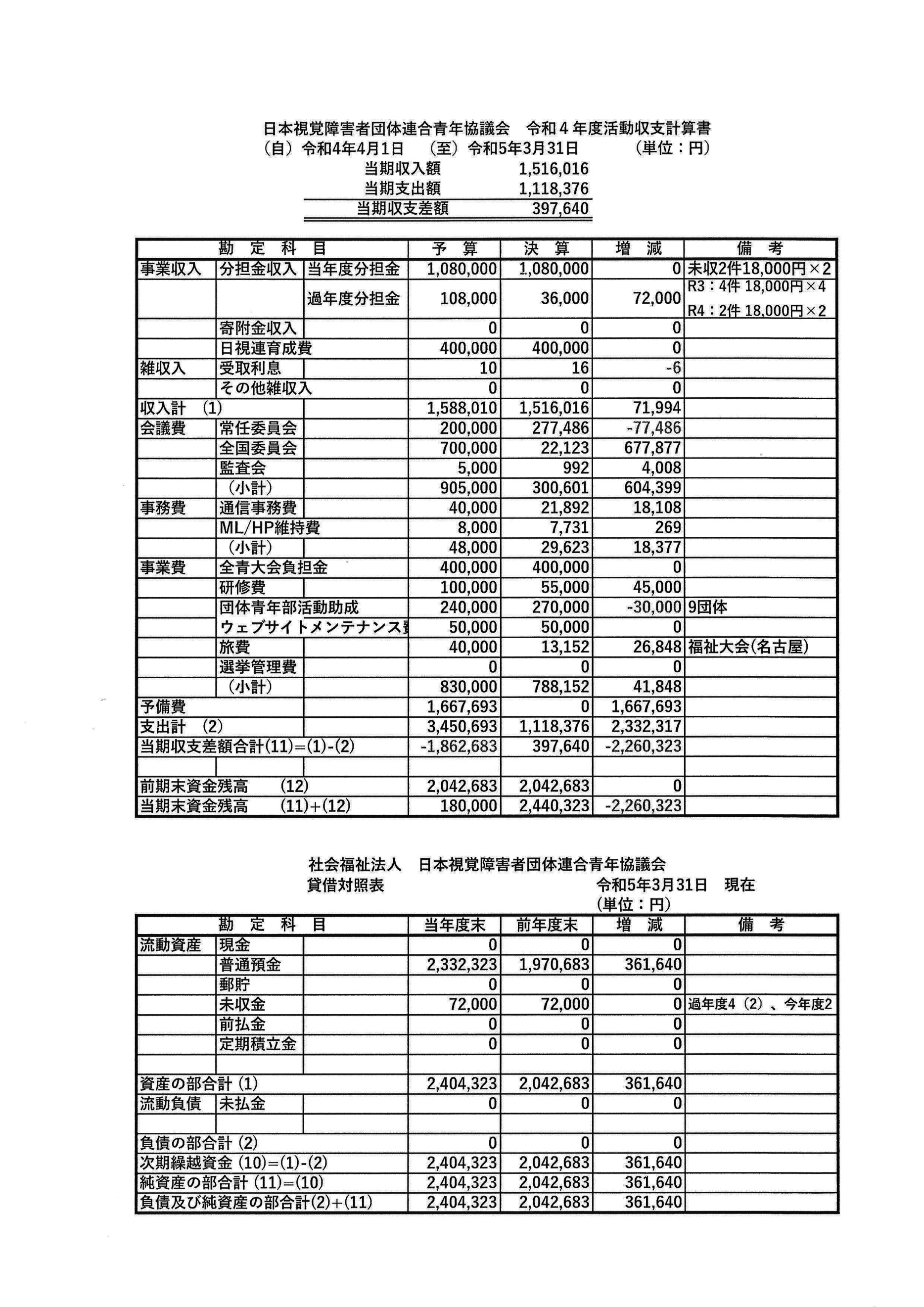
第２回代表者会議（オンライン）

３月８日（水）　　鹿児島県視覚障害者協会青年部

座談会（オンライン）

３月２４日（金）　青年協　第６回常任委員会

（オンライン、他）



テキスト, 手紙

自動的に生成された説明

**社会福祉法人日本視覚障害者団体連合 青年協議会**

**令和５年度　事業計画(案)**

**（令和５年４月１日～令和６年３月３１日）**

【活動方針】

（１）移動、ＩＴ、就労、教育、結婚・子育て等について、青年層の抱える問題を集約し、日視連本部と連携のもと、社会に対する啓発を行う。

（２）ブロック推進委員会と連携し、各ブロックの青年

部活動を支援し、地域の青年部活動の活性化を

図る。

（３）全国大会の目的や内容を見直し、地域団体が開催

しやすく、地域の青年層が参画しやすい新たなス

タイルを検討する。

【主な活動】

・日視連団体長会議、提出議題分科会、評議員会への

参加

・第７６回全国視覚障害者福祉大会 奈良大会への参加

・第６９回全国視覚障害青年研修大会札幌大会の実施

・青年協議会第30代会長選挙（９月）

・日視連会長との意見交換会（年１回）

・ブロック推進委員会と連携し、ブロック活動支援事業

の実施

・各団体青年部担当者との連絡調整

・関係団体との連携（研修会への参加や共同開催など）

・オンライン研修会の開催（教育）年１回（11月）

・ブロック推進委員会の実施　年３回

（４月、８月、１月）

・代表者会議の実施　年２回（７月、９月）

・青年協提出議題検討会（２月）

・青年部活動情報交換会　年２回　（９月、２月）

・７０周年記念大会の企画・準備会（８月、１月）

・団体青年部活動助成事業

（仲間づくり・交流・研修会など）：１０団体

・青年協議会MLの管理

・青年協議会HP、SNSの管理・運用

・青年協議会役員名簿の作成と管理

・点字・墨字・メールによる各種文書送付

・各種調査・アンケートへの協力

・SNSやMLでの活動報告

（青年協、ブロック推進委員、青年部長）

【主な日程】

４月１２日（水）～１４日（金）

日視連　提出議題分科会

（オンライン）

４月２７日（木）　青年協　第１回常任委員会

（オンライン）

４月２７日（木）　青年協　第1回ブロック推進委員会（オンライン）

５月２１日（日）～２２日（月）

第７６回全国視覚障害者福祉大会（奈良県）

日視連　第１回団体長会議

６月　８日（木）　日視連　本部監査（オンライン）

６月２７日（火）　日視連　第１回評議員会

（オンライン）

６月　　　青年協　第２回常任委員会（オンライン）

７月２２日（土）　青年協　第１回代表者会議

（オンライン）

８月　　　青年協　第１回７０周年記念大会検討会

（オンライン）

８月　　　青年協　第２回ブロック推進委員会

（ハイブリッド）

８月　　　日視連　各省庁への陳情

９月１７日（日）～１８日（月・祝）

第６９回全国視覚障害青年研修大会札幌大会

（ハイブリッド）

９月１７日（日）

青年協　第３回常任委員会

青年協　第２回代表者会議（ハイブリッド）

１０月　　日視連　第２回団体長会議（オンライン）

１１月　　青年協　社会対策研修会・教育（オンライン）

１２月　　青年協　第４回常任委員会（オンライン）

１月　　　青年協　第３回ブロック推進委員会

（オンライン）

１月　　 　青年協　第２回７０周年記念大会検討会

（オンライン）

２月　　　　青年協　提出議題検討会・情報交換会

(オンライン)

２月　　　　日視連　第３回団体長会議（オンライン）

３月　　　　青年協　第５回常任委員会（オンライン）

３月　　　　日視連　第２回評議員会（オンライン）

文字の書かれた紙

自動的に生成された説明

**大会宣言（案）**

　日本列島の最北端に位置する北海道は、九州の約2.1倍の面積を有し、アイヌ文化と日本各地の文化が融合する地で、農産物、畜産物、海産物の豊富な島です。道の中心都市である札幌市は人口約200万、その市街地は中心を南北に貫く創成川と、東西に貫く大通から碁盤の目状に広がり、降雪期にあっても歩きやすく、藻岩山、大倉山、羊ヶ丘展望台、札幌の奥座敷と称される定山渓温泉等、観光都市としての魅力にあふれています。大通公園では、６月はＹＯＳＡＫＯＩソーラン祭り、夏はビアガーデン、冬はさっぽろ雪まつり、そして９月は道内の美味が集まるオータムフェストといった催し物も満載です。更に視覚障害者にとっては、市営地下鉄の３路線すべての駅に可動式ホーム柵が設置される等、福祉都市です。全国に誇れるこの地に、全国各地の仲間が４年ぶりに参集して、第69回全国視覚障害青年研修大会が行われることは大変喜ばしいことです。

　さて、障害者差別解消法が2021年に改正される等、障害者に関わる法整備は少しずつ進展しています。今後も、これらの法律が私たちにとって実効性のあるものとなるよう、引き続き国の動向を注視していくと共に、各所に働きかけていく必要があります。

　2018年９月７日未明に起きた北海道胆振東部地震では、厚真町を中心に甚大な被害をもたらし、札幌市も震度６弱を観測しました。道内は、ほぼ全域の停電が２日以上続くという経験をしました。この体験から災害弱者である私たちは、防災意識を更に高め、災害時マニュアルの整備や福祉避難所の設置を国や各自治体へ働きかけていく必要があります。視覚障害者にとって重要な情報源であるテレビ放送では、必要な情報を十分に得られる環境が整っているとは言えません。緊急放送を含めた字幕の音声化を各テレビ局や総務省に引き続き要望していくことが重要です。

　駅ホームでの転落事故や踏切や横断歩道を歩行中の事故等、視覚障害者が相次いで犠牲になっています。駅員の目の届かない地方都市や無人駅こそ可動式ホーム柵の設置等の安全策の徹底を各鉄道会社に強く求めていかなければなりません。また、公道での安全対策として、踏切内がわかるような工夫や音響式信号機の設置に加え、ハイブリッド車や電気自動車等への発音装置の使用義務化を望みます。また、冬場は積雪により道路状況が変化しやすくさらに危険性が増します。雪国に住む視覚障害者の外出の安全性についても強く訴えていかなければなりません。更には、歩きスマートフォンの使用、自転車や歩行者の信号無視等の道交法違反は、音を頼りに歩く視覚障害者の重大な事故に繋がるため、そうした事案への罰則の適用や取り締まりの強化を働きかける必要があります。

　タッチパネルを採用する家電製品やアプリの開発にあたっては、各メーカーに当事者としての要望を伝え、より良い製品開発を働き掛けると共に、そうした商品開発に視覚障害当事者が携われるよう、国や企業に要望していく必要があります。

　2014年に批准した障害者権利条約において、国連は我が国に対し、特別支援学校による分離教育の廃止を求めています。インクルーシブ教育を進めていくためには、様々な課題があります。特に重要なのは、視覚障害者として日常生活を送ったり、社会参加をするために必要となる点字や歩行、ICTスキルなどを習得するための専門的な教育をどの地域にいても受けられるシステムを構築することです。そして、あん摩・鍼・灸以外の職域の確保と、それを実現させるための教育の充実、更には視覚障害者の職域拡大について、文科省・厚労省・各企業に働きかけて行くことが重要です。しかしながら、視覚障害の適職であるあはき業については、こうした社会の変化においても絶やしてはならないものであり、引き続き充実した環境での専門教育が受けられるよう要望していかなければなりません。

　私達はこれらの山積した課題を解決するため、当事者組織としての責任と自覚をもち、誰もが安心して暮らせる共生社会の実現を目指していくことをここに宣言します。

令和５年９月１８日

社会福祉法人日本視覚障害者団体連合青年協議会

第６９回全国視覚障害青年研修大会　札幌大会

**令和５年度　青年協議会提出議題**

**第76回全国視覚障害者福祉大会**

**奈良大会に提出**

**（大会決議）**

１． 日常生活用具給付等事業の要件である「日常生活品として一般に普及していないもの」という条項を削除して欲しい。（愛知県）

２． 教員の専門性が育つ人事システムを再構築し、盲学校や地域の学校のどちらを選択しても専門的な教育を受けられるようにしてほしい。（静岡県）

３． 非接触端末機器の普及で、視覚障害者が不利益を

被らないよう、アクセシブルな機器開発や人的サポ

ートを促す施策を求める。（東北・近畿ブロック、愛

知県）

**令和４年度　各団体青年部提出議題一覧**

**（令和4年2月19日実施　提出議題検討会より)**

【生活、交通、バリアフリー】

１． 社会的な価格高騰を考慮し、補装具費支給制度において、公的負担額の上限を見直して欲しい。（東北ブロック）

２． 手帳の等級条件に該当し、回復が見込めない場合、症状固定判定診断が下されるまでの限定的な手帳を交付してほしい。（静岡県）

３．マイナンバーカードで行うすべての電子申請や資料請求は視覚障害者が確実に容易に行えるよう配慮をしてほしい。（大阪府）

４．クレジットカード申請時の署名の代筆の配慮の徹底をしてほしい。（大阪府）

【職業、教育】

１．職場におけるICT（業務システム、シンクライアント等）のアクセシビリティについての現状把握と対応の検討をしてほしい。（横浜市）

２．各種検定試験・資格試験を視覚障害者が受験する際に、点字・拡大文字での受験ができるようにしてほしい。（熊本県）

３．CBTで実施される各種資格試験・検定試験を視覚障害者でも全て受験出来るようにしてほしい。（和歌山県）

**社会福祉法人日本視覚障害者団体連合青年協議会**

**全国視覚障害青年研修大会　輪番表**

　　２０１３年（平成２５年度）　第５９回　静岡県

　　２０１４年（平成２６年度）　第６０回　岩手県

　　２０１５年（平成２７年度）　第６１回　広島県

　　２０１６年（平成２８年度）　第６２回　千葉県

　　２０１７年（平成２９年度）　第６３回　鹿児島県

　　２０１８年（平成３０年度）　第６４回　奈良県

２０１９年（令和元年度）　　第６５回　三重県

　　２０２０年（令和２年度）　　第６６回　広島市（中止）

　　２０２１年（令和３年度）　　第６７回　神奈川県

　　２０２２年（令和４年度）　　第６８回　福岡県

　　２０２３年（令和５年度）　　第６９回　札幌市

　　２０２４年（令和６年度）　　第７０回　大阪市

　　２０２５年（令和７年度）　　第７１回　愛知県

　　２０２６年（令和８年度）　　第７２回　中国・四国

ブロック

　　２０２７年（令和９年度）　　第７３回　関東ブロック

　　２０２８年（令和１０年度）　第７４回　九州ブロック

　　２０２９年（令和１１年度）　第７５回　東北・北海道

ブロック

　　２０３０年（令和１２年度）　第７６回　近畿ブロック

　　２０３１年（令和１３年度）　第７７回　東海・北信越

ブロック

２０３２年（令和１４年度）　第７８回　中国・四国

ブロック